

家庭学習のすすめ

～自ら進んで学ぶ子に～

学校では、学習内容の定着、学習意欲の向上のため、学習課題を明確にし、「わかる」授業実践のために日々努力をしています。一方家庭では、家庭学習を行うことにより学んだことの理解が深まり自信が生まれ、学習への興味・関心が広がります。また、自ら学ぶ習慣を身につけることにより、様々なことを進んで行う主体的な態度が養われていきます。

この度、『家庭学習のてびき』を各学年部向けに作成し、配布しました。ご家庭でもお子さんと一緒に読んでいただき、これからの家庭学習の参考にしていただきますよう、お願いいたします。

学びの基盤としての基本的な生活習慣の育成とともに、家庭学習の定着・習慣化をめざし、学校と家庭が手を携えて「湖三小っ子」の学ぶ力を育てていきましょう。

家庭学習の意義

- ①学習内容が習熟・定着します。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。
- ②読み・書き・計算を毎日繰り返すことにより、脳が活性化します。
- ③家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。
- ④がまん強さ・根気・集中力が育ちます。そのためには、テレビやゲームの時間を決めたり、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族の協力も必要です。
- ⑤音読をそばで聞いてあげる、勉強がわからないとき教えてあげるなど、親が関わることにより、家族のふれあいの機会が増え、心の安定にもつながります。



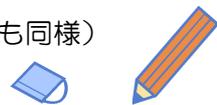
～学用品についてお願いします～

集中して学習できるよう、子どもの学用品は次のような点にご留意の上、準備してください。

- ☆ シンプルな物を記名してご準備ください。
- ☆ 学校の学習に必要なもの以外は持って来ません。

具体的には、

- 筆箱・・・鉛筆が取り出しやすく、飾りや小物になるべくないもの
 - 鉛筆・・・5本（1年生は4本、Bまたは2Bが望ましい）
飾りなどついていないもの（キャップを使う場合も同様）
 - 赤鉛筆（学年に応じて赤ボールペン）1本
 - 名前ペン1本（1年生は学年途中から）
 - 消しゴム1個・・・実用的なもの（ローラー消しゴムや練り消しゴムは適しません）
 - 定規・・・透明でシンプルな物（折りたたみ式でない物、1年生は学年途中から）
- 下じき1枚
- その他、担任から連絡のあったもの



①学習内容の定着

学校で習ったことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ります。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

②脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じで毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。

③学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、大きな力につながります。

④がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族の協力も必要です。

⑤家族のふれあい

音読をそばで聞いてやる、勉強がわからないとき教えてやるなど、家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、コミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増え、子どもの精神の安定にもつながります。

